



ひ づ け	名 前
月 日	

問題

次の詩を、まず声に出して読みましょう。その後、問題に答えましょう。

①かれはまず村の上で何度も円をえがく。
 さっきまでは、ほんの②はえ一ぴき、すす一つぶの大きさだった。
 そのすがたが次第に大きくなるにつれて、えがく円がせばまってくる。
 ときどき、かれはじっと動かなくなる。庭の鳥どもは不安そうな様子を見
 せ始める。【は小屋へはいる。一羽のめんどりは
 けたたましく鳴きながら、ひなどりたちを呼び集める。
 用心けんごながちょうどもが、うら庭からうら庭へがあが鳴き立ててい
 る声が聞こえる。
 はやぶさはためらうように、じっと同じ高さの所を飛んでいる。おそらく、
 かれはしょうろうのおんどりをねらっているだけなのかもしれない。
 ちょうど、③一本の糸で空につり下げられているようだ。
 とつぜん、その糸が切れ、はやぶさはさっと落ちてくる。え物が決まったので
 ある。

(ルナール作、岸田国士訳「博物誌」より)

1 —①の「かれ」は、何を指していますか。

()を指しています。

2 —②は、何を表していますか。

村の空の()にしていることを表しています。

3 【 】に入る言葉を次から選んで書き入れましょう。

(うさぎ 犬 ねこ はと ねずみ)

4 —③のはやぶさは、—②と同じ空の高さにいますか。

ア ②より低い所 イ ②と同じ高さの所 ウ ②より高い所